

# 雪による被害防止について

## ■家の中で安全に過ごすために

- ・ 気象情報に注意して、暴風雪が予想されるときは外出を避けましょう。
- ・ 日頃から停電に備えて懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブ、灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- ・ FF式暖房機などを使用している場合は、一酸化炭素中毒を起こす恐れがありますので、給排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。



## ■車で外出するときに気をつけること

- ・ 万一に備えて、携帯電話を忘れずに所持すること！
- ・ 車が立ち往生する可能性があるので防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。また、万一に備えて飲料水や非常食も用意しておくとう安心です。
- ・ 運転していて地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずに道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気回復を待ちましょう。
- ・ 大雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは、JAFなどのロードサービスや近くの人家などに必ず救助を依頼してください。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしてください。
- ・ 避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡して、車の中で救助に備えてください。
- ・ 車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは窓を開けて換気を行い、こまめにマフラーまわりを除雪してください。



## ■除雪を行うときに気をつけること

### 屋根の雪下ろしをするときは

- ・ 複数で行う→はしごを支える。安全を確認する。万一の場合は救助を！やむ得ず一人でやる場合は、家族や近所の人に声をかけて！
- ・ 滑り止め→靴やはしごに滑り止めをつける等の工夫を！
- ・ 命綱を着けて→面倒でも、腰に命綱をつけて滑った場合や雪の急落に備えて！
- ・ 周囲を確認→屋根の下を通行する人や子どもに注意を！

